

## これからの三鷹の教育を考える学園・学校熟議

### 【連雀学園】

日時：令和4年8月22日（月）午後1時から午後3時30分

#### テーマ1

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもたちを育成するためには、どのような教育が必要でしょうか。

##### ○授業に関わること

- ・基礎学力の定着、書くことを大切にした学習
- ・ありのままを認める教育、自己肯定感・自己有用感を感じ、自分に自信が持てる教育
- ・色々な価値があることを認識、理解する機会の設定
- ・それぞれが自己を発揮できる場をたくさんつくる、得意なことをもっと伸ばす教育
- ・ディベート活動や、意見を考えて発表する活動の充実など自分の意見をまとめ、発表・説明できる力の育成、そのための話をしやすい環境、助け合う教室の関係づくり
- ・自由進度学習の導入
- ・与えられたことだけでなく、新しいことに挑戦したくなるような自由度のある学習
- ・授業の在り方を大きく変え、自分の興味・関心のあることの探究を中心にする
- ・学習内容と日常生活や社会問題を結び付け、考えを深めたり、課題に取り組む機会提供
- ・各教科において考える・まとめる・発表するなど表現活動を一層重視する
- ・問いを投げかけ、児童自身が考える授業づくりの工夫
- ・成果の評価から過程の評価への転換
- ・子どもたちの主体性を活かせる学校行事・係・当番などの充実
- ・将来に向けて様々な選択肢を知ることができる教育
- ・世界で通用する英語教育の実施
- ・野外体験、実際のものに触れる経験の充実

##### ○学校に関わること

- ・異学年交流の拡充
- ・教育課程の柔軟な編成（平日、休日の柔軟な設定）
- ・学年の枠のない授業カリキュラム
- ・学校の役割の明確化（これはやる、これはできない）
- ・教員の時間のゆとり、子どもたちの「やってみたい」を実現できるような現場の余裕
- ・教員のオンオフの切り替え、趣味を持ち仕事以外の生活の場の確保
- ・有償の支援員の充実

##### ○地域に関わること

- ・家庭教育（家庭に求める部分を明確にし、発信し、過保護、放任の二極化を避ける）

- ・ 幼・保・小の交流
- ・ 地域の人と子どもたちが共通のものごとに関わりあう

#### ○施設・設備等

- ・ エレベーター、トイレの改修工事
- ・ 教員のタブレットだけでも YouTube 可に

## テーマ 2

スクール・コミュニティの創造に向けて何ができるでしょうか。

#### ○第 2 部、第 3 部のプログラム

- ・ 補習授業、未来塾
- ・ イベント（かくれんぼ、お祭り、ナイトハイク、夜の学校、謎解き、脱出ゲーム、花火、七夕、キャンプ、映画鑑賞、天体観測、三鷹市の魅力 PR 企画等）
- ・ 三鷹市全体で取り組むイベント（〇〇大会、学園対抗を含む）
- ・ 特別教室を活用した活動（図工室での絵葉書教室、音楽室での三味線教室等）
- ・ 地域人財による講座（英会話、囲碁、将棋、習字等）、出前授業、地域と学校が一体となって行う授業
- ・ 野菜などを育て、調理したものを販売する
- ・ 子どもと共に学ぶ機会を増やす
- ・ 大人の活動場所（第 3 部）（セミナー会場、バンド練習、スポーツ活動）
- ・ 第 2 部、第 3 部での活動内容や成果を知る機会の設定

#### ○部活動

- ・ 外部委託、地域移行の推進

#### ○施設、場づくり

- ・ 施設が古すぎる、魅力ある施設に人は集まる、施設設備の質的充実
- ・ 地域プールの活用、校庭への照明設置に夜間活用
- ・ 学校施設の開放の拡充（特に学校図書館）
- ・ 朝の時間の充実
- ・ フリースクールのような環境（異学年交流、大人との距離、体験活動）
- ・ 不登校児童生徒が学校に登校する機会に
- ・ より子どもに決定権のある居場所に、時と場合によっては児童生徒がリーダーに
- ・ 保護者同士が交流し合える場に

#### ○地域との関わり

- ・ 地域サークルとのつながりをつくり、部活動や実技系教科に地域人財に入ってもら
- ・ 地域人財の一覧（データベース）があるとよい
- ・ SC 推進員との連携事業の「見える化」、SC 推進員の増員・強化
- ・ 地域・家庭との連携、互いの声を聞く、情報共有

- ・子どもたち主導の学園マップの作成、保護者・地域を巻き込んだ宿題
- ・三鷹を好きな子を育てる、教員も少しでも三鷹を好きになる

#### ○課題

- ・第2部、第3部の管理運営体制、役割分担、運営資金（スタッフは有償に）
- ・防犯カメラの設置や警備の強化、開放範囲の制限等の安全の確保（個人情報含む）
- ・持ち物管理（アメリカのようにロッカーで管理し掲示物も含めいつ誰が入ってきてもいいようにする）、教具・教材・備品の管理
- ・スクールバスでの送迎
- ・情報共有、理解の増進、ホームページの充実
- ・児童生徒に今後目指すべき姿、目標を伝え、案などをたくさん出してもらう

これからの三鷹の教育を考える学園・学校熟議  
【にしみたか学園】

日時：令和4年7月22日（金）午前9時から午前11時30分

テーマ1

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもたちを育成するためには、どのような教育が必要でしょうか。

○授業に関わること

- ・ 自己有用感や自信とともに、他者への信頼や思いやりを育む
- ・ 「なぜ」「どうして」を考え、自ら行動する力、自らの行動で少しでも変化が起こる経験
- ・ 子どもの振り返りの充実
- ・ チャレンジの機会や失敗から学ぶ機会の確保、義務教育で育む力を意識した社会に出る前のチャレンジ、大人も失敗を見せる、トライ＆エラーを認める
- ・ 基礎となる知識・技能、思考力・判断力・表現力
- ・ 認め合える環境づくり、他者の考えの受容、多様な価値観を知る
- ・ 非認知能力、正しい判断力、諦めない力、粘り強くやり抜く力、挑戦する力等の育成
- ・ 自主・自立の尊重、集団の一員としての自覚
- ・ 互いの関わりを大切にし、授業、生活両面でのコミュニケーションを増やす
- ・ 肯定的な言葉がけ、間違いも許容し、挑戦を促す、得意な部分を伸ばす
- ・ 各教科・生活指導において「考える場面」の意図的な設定
- ・ 学力向上につながるタブレットの学習法、アプリ等の活用、指導法の確立
- ・ グループワークや造形遊び等、協働的な学びの推進
- ・ 身近なこと、自分事と思える実感のある学び、子どもが意欲的に取り組める教育
- ・ 体力・運動習慣、心の健康
- ・ 児童生徒に学びのコントローラーを渡す
- ・ 授業以外の取組や教材の精選
- ・ 探究的な授業への転換

○学校に関わること

- ・ 教員の「人間力」「社会力」の向上
- ・ 働き方改革の推進（会議等が多い）、子どもに向き合う時間、研究時間の確保
- ・ システムによる効率化、コミュニケーション不足の解消
- ・ 異学年、異校種交流・学びの充実、9年間を生かした中学生と小学生の交流
- ・ 教育支援が必要な子どもへの人的サポートの充実
- ・ 将来を見据えたキャリアプランによって変わる教育

○地域に関わること

- ・地域人財の協力を得ていろいろな人の考えを取り入れる機会の確保
- ・CS 委員会と連携してゲストティーチャーの招へい
- ・地域の方と触れるきっかけとなる教育

#### ○施設・設備等

- ・情報センターとして図書館機能の活用、充実、図書資料の充実
- ・建替え（老朽化が進んでいる）

## テーマ2

スクール・コミュニティの創造に向けて何ができるでしょうか。

#### ○第2部、第3部のプログラム

- ・「人間力」「社会力」を“飛躍させる場”
- ・地域人財によるワークショップ、講演会
- ・子どもたちのアイデアで行うボランティア
- ・スポーツ、文化、〇〇体験、イベント（みんなで掃除、屋上での星空観察、映画鑑賞、バザー、フリーマーケット、夏祭り）
- ・二中カフェの拡大版
- ・フードコート
- ・「にしみたかデジタルコンテンツ」の作成
- ・「ふるさとにしみたか」（地域の名産を生む商品開発）

#### ○部活動

- ・部活動指導の外部委託、保護者の参加
- ・休日の部活は行わない

#### ○施設、場づくり

- ・保護者同士や地域の方同士の人間関係構築、人と人とのつながりの場
- ・学校施設開放の拡充、誰でもいつでも入れる
- ・施設管理の一部を外部に依頼
- ・地域行事、学校行事の相互手伝い、相互参加
- ・地域の良さを生かした学校で体験できないことができる場を目指す
- ・小学校から地域クラブへの参加
- ・町内別に集まり大人、子供の交流の場をつくる
- ・地域スポーツとの連携
- ・教室環境を整える
- ・フードコートの併設

#### ○学校教育（第1部）への効果

- ・地域人財を活用した教育活動の充実
- ・地域の協力で子どもと向き合い時間の確保

- ・ 地域 PR を授業で取り扱う

#### ○課題

- ・ 第 2 部、第 3 部の管理運営体制
- ・ 安全の確保（個人情報含む）、物の管理、問題への対応
- ・ スクール・コミュニティについての理解、現在の活動の周知
- ・ 「コロナ禍」での対応
- ・ 予算、人員の増
- ・ 教員や学校関係者が考えすぎず、行政に任せる

これからの三鷹の教育を考える学園・学校熟議

【三鷹の森学園】

日時：令和4年8月24日（水）午前9時から午前11時30分

テーマ1

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもたちを育成するためには、どのような教育が必要でしょうか。

○授業に関わること

- ・自ら課題を見つけ、解決策を見出したり、考えたことを実現できる体験を増やす
- ・粘り強さ、レジリエンス、困難を乗り越え目標に向かってやり続ける力の育成
- ・将来の夢や目的意識も持ち、進んで学ぶ、未来を創造する力の育成
- ・教員を含め、失敗を恐れ過ぎず、失敗できる機会を保障する
- ・子どもからの「問い」を引き出し、「わかった」「学びたい」と思える授業、コーチング
- ・学んだことを活用したり、実践できるような教育、資質・能力が向上した場面を価値付けしてくれるフィードバック
- ・児童生徒が主となる活動（学級会、行事）、対話・議論する活動、協働的な活動の充実
- ・自己理解や自己肯定感の向上、好きなことや得意なことができる
- ・多様な考えの受容、助け合いの力、人とつながる力、感情をコントロールする力
- ・アウトプットする活動の充実、伝える力を伸ばす
- ・タブレットを活用した個別最適化
- ・農業体験、ボランティア活動、当番・係活動の推進

○学校に関わること

- ・更なる少人数学級化、一斉教育の廃止、カリキュラムの見直し、教員の増員
- ・学力調査よりも日々の授業で何ができているかを自ら知っていくほうがよい
- ・リアルで学校に来る意味の追求
- ・小中の教員同士の交流
- ・心理の資格を持ち教科指導しない担任制
- ・指導側のウェルビーイング（授業準備の時間の確保、授業時数、〇〇教育、会議や土日の部活の削減、教員の余暇の充実、時差勤務の導入、課外時は私服登校）

○地域に関わること

- ・地域人財を学習活動に取り入れる、地域に飛び出す、地域の良さを知る
- ・人財バンクの構築、授業、行事、校外学習での協力
- ・学校と家庭の連携の強化

○施設・設備等

- ・環境の整備（Wi-Fi、教具、校庭の広さ、教室数等）

## テーマ2

スクール・コミュニティの創造に向けて何ができるでしょうか。

### ○第2部、第3部のプログラム

- ・地域人財による学習指導、宿題をやらせてくれる塾
- ・習い事、教室、講座（コーラス、料理、実験、運動、外国語、音楽、昔遊び等）
- ・お泊り会、学校キャンプ
- ・地域探検、地域の歴史・伝統を知る、地域との防災、防犯教室
- ・地域の方や職業人によるゲストティーチャー
- ・「職業体験部」のような社会の中で活動する場
- ・ペアレントトレーニング、カウンセラーによる子育て相談、専門家による作業療法、言語指導
- ・大人の学び、生涯学習（語学、地域、PCスキル等）

### ○部活動

- ・顧問の委託、地域移行、外部移動員の拡充
- ・指導者はコーチングができれば専門性不要とし子どもが目標や練習メニューを考える
- ・部活を子ども向けに限定せず、社会人、地域向けに活用する
- ・小学校の教員も兼業で部活指導を可能とする
- ・スケートボードなど新たな競技による子どもの選択肢の多様化

### ○施設、場づくり

- ・学校施設の開放の推進、学校をカルチャーセンター、公園のように
- ・時間・空間で地域と学校が区切られないよう参加しやすく
- ・家で居場所がない子や引きこもり、障がいのある子への支援
- ・多世代交流、卒業後も学び続けられる場
- ・子ども食堂
- ・プール開放の外部委託や地域との共同利用
- ・定期的なイベント開催による学校と地域の盛り上げ
- ・地域活動参加によるポイント付与

### ○複合施設

- ・保育施設、介護施設、公民館

### ○課題

- ・第2部、第3部の管理運営体制
- ・教室はみんなのもの！の意識改革、子どもの個人の持ち物を減らす
- ・地域行事、学校行事への相互参加
- ・スクール・コミュニティの理解や様々な人のための学校という意識改革
- ・安全の確保（個人情報含む）
- ・利用しやすく、連携しやすい広報、情報発信、情報共有
- ・ベンチャー活動等、資金の確保

## これからの三鷹の教育を考える学園・学校熟議

### 【三鷹中央学園】

日時：令和4年8月24日（水）午前9時から午前11時30分

#### テーマ1

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもたちを育成するためには、どのような教育が必要でしょうか。

##### ○授業に関わること

- ・グループワークや熟議等を積極的な活用、どんな場面でも人と話し合いができる姿勢
- ・子どもへの一方通行でなく、子ども同士のつながりの活用、多様性を大切にする環境
- ・集団で何かをすることから得られる達成感の経験
- ・皆が違うという前提に立つ、レベル別の課題を自身で選択し、苦手なことにも取り組みやすい環境づくり
- ・習得主義への転換、一斉授業をやめる
- ・国語も算数同様、少人数化／習熟度別に少人数クラスに
- ・「自律」「メタ認知」「個性尊重」をはぐくむ教育、自己評価を含めた学習活動
- ・教員がなんでもやらない、用意しない
- ・挑戦→失敗→振り返り→挑戦→成功→次なる挑戦のサイクル
- ・「自分事」「主体性、かかわる力を育てる教育」
- ・自分で選択できる授業の設定
- ・市内小・中学生同士で、同教科、同単元の成果や意見を共有、発表するフォームを作る

##### ○学校にかかわること

- ・時間割の柔軟性を増やす、時代にそぐわないものをカットしていく
- ・教科授業を4時間目まで、体験的活動を5・6時間目に行う
- ・教員の専門性を高める、校内研究の充実
- ・通知表の廃止、評価せずに教科所見でよかったところを指摘し次への課題を提示する
- ・内申を用いた受験制度をなくす
- ・教員の仕事の精査、増やすなら減らす、家でやらなくても済むような仕事量へ
- ・自習に特化した教員がいれば休みやすい
- ・理科支援員、体育支援員等、小一支援員の通年化

##### ○地域に関わること

- ・ボランティア活動に参加させる
- ・教育活動や学習の成果を地域・社会に発信する活動
- ・地域社会に役立つことを考え、実践する

##### ○施設・設備等

- ・タブレットでは不十分であり、タブレット PC が 1 人 1 台必要
- ・教員 PC のネット環境の制限緩和
- ・豊かな教育資材の確保

## テーマ 2

スクール・コミュニティの創造に向けて何ができるでしょうか。

### ○第 2 部、第 3 部のプログラム

- ・ 4 年生以上の居場所づくり
- ・ 集団が苦手な子が学べる場所
- ・ 個性が活かせる場（例えば探究学舎とのコラボ）、自校にない競技の部活
- ・ 地域の専門家ゼミ、四中ゆないと
- ・ 民間の塾
- ・ 夜間学校（定時制）、学び直し、資格取得を目指した講座
- ・ 教員も参加できる（スポーツ、音楽活動、ヨガ、ボランティア等）

### ○部活動

- ・ 外部指導員の充実
- ・ 専門性のある教員は部活の時間に顔を出せる
- ・ 小中合同はルールや道具が違うので難しい
- ・ 部活の外部化は指導者が職業として成り立たないため、うまくいかないのではないか

### ○施設・場づくり

- ・ いつでも学べる居場所
- ・ 不登校・登校しぶりの子が、通える場所をつくる
- ・ 子どもたちの興味関心（子どもの考えを聞く）
- ・ 保護者、OB、OG とつどえる
- ・ 朝の居場所
- ・ 学生食堂の展開
- ・ 交換日記的な交流ボード

### ○複合施設

- ・ 公民館、保育園、老人ホーム、会社

### ○課題

- ・ コミュニティと連携するための分かりやすい窓口の設置
- ・ 児童生徒の個人情報や持ち物をなるべく置かない
- ・ それぞれの場を明確に分ける、責任者ははっきり決める

これからの三鷹の教育を考える学園・学校熟議

【鷹南学園】

日時：令和4年7月22日（金）午後1時から午後3時30分

テーマ1

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもたちを育成するためには、どのような教育が必要でしょうか。

○授業に関わること

- ・一人ひとりを大切にする教育（個別学習、協働的な学習、計画を立て振り返ることができる学習）
- ・個性、長所の伸長（短所に目が向きがちなので視点を変える）
- ・児童の考えを大切にした教育、主体は子ども、教員はサポート
- ・主体的に学びたいと思える教育、考える教育、討論や発表等で考えを伝えあう場の設定
- ・自己肯定感、自己有用感、自己調整能力、自己理解力
- ・幸せのビジョンやどんなに大人になりたいかを持てる教育
- ・自己満足にならず、人の意見や助言を聞いて自らを高める力、多角的思考力
- ・多様な他者との関わりをもつ、人間関係を構築、修復する力、コミュニケーション能力
- ・あいさつ、時間を守る、役割意識、責任感
- ・社会に出ることを想定した体験的な教育、身体活動、失敗できる、実践力の育成
- ・係・当番活動を責任もって行わせる
- ・乗り入れで旧6年担任が行かないようにする
- ・「目指す子ども像」を定めることがせん越
- ・「めあて」を書いて「まとめ」で終わる板書からの脱却
- ・SDGs等、広い視野で考える活動を促す教育
- ・総合、道徳、各教科における課題解決学習

○学校に関わること

- ・見通し（目的）のある教育計画
- ・学校の中での規則・ルール之余白を増やす
- ・カリキュラムではなく、時間と空間を子どもたちに保障する
- ・情緒固定級と知的固定級をどの学校にも設置
- ・特別な支援を要する子や家族への手厚い支援
- ・大規模災害を想定した数日間の野外宿泊実習
- ・職業体験の再開
- ・教員の待遇改善
- ・更なる少人数学級化、教員の教材研究時間の確保

- ・行政からのサポートの充実
- ・教育学部志願者の右肩下がりを読み止める

#### ○地域・家庭に関わること

- ・地域に愛着を持てる教育活動
- ・学校現場を地域に知ってもらう
- ・サポートに入る方の専門性の向上、人数の増
- ・地域による家庭へのサポート、親同士をつなげるシステム

#### ○施設・設備等

- ・クールダウンなどの多目的室を増やす
- ・予算の拡充、老朽化した校舎の改善

### テーマ2

スクール・コミュニティの創造に向けて何ができるでしょうか。

#### ○第2部、第3部のプログラム

- ・放課後の学習支援、勉強スペース、お金のかからない塾、検定
- ・異文化交流、野菜作り、映画、ライブ、合奏団、料理教室、ピアノ教室、英語教室、絵画教室、陶芸教室、サイエンス教室、ものづくり、プログラミング、ゲーム作り、制作物の販売、貸会議室、宿泊体験
- ・地域の方、外国籍の方が先生になって〇〇教室
- ・子ども食堂、だんだん・ばあ
- ・外国人向けの夜間学校
- ・大人の学校、大人が学べる場所
- ・悩み事相談室、多世代交流（井戸端会議）
- ・制服や本などのリサイクル
- ・スウェーデンの「スタディサークル」を参考にすべき

#### ○部活動

- ・地域移行、外部指導員の活用

#### ○施設、場づくり

- ・食堂、カフェなど憩いの場
- ・プールの地域開放、ナイトプール
- ・ナイター設備の整備
- ・地域通貨「ミタポ」の発行
- ・子どもや地域の意見を取り入れる
- ・昼休みも児童生徒の見守りをしてほしい
- ・登校しぶりの子どもの迎え
- ・地域行事への参加、地域の方への施設説明、地域の方との勉強会など相互理解の深化

○複合施設

- ・ ホテル、カラオケ、居酒屋

○課題

- ・ 第 2 部、第 3 部の管理運営体制、人員確保、役割の明確化
- ・ 目的と活動内容の明確化、ルール作り
- ・ 安全の確保（個人情報含む）、ガードマンの配置
- ・ 施設、備品の管理
- ・ 他の学園や自治体、全国の取組を学び、改善する

これからの三鷹の教育を考える学園・学校熟議

【東三鷹学園】

日時：令和4年8月24日（水）午前9時から正午まで

テーマ1

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもたちを育成するためには、どのような教育が必要でしょうか。

○授業に関わること

- ・自ら課題や目標を設定し、それを解決できる資質・能力の育成
- ・自らじっくり考える時間、問をもつ時間の確保など、主体的、能動的な学び
- ・子どもにとって必然性があったり、必要感を持って取り組める教育
- ・基礎学力や集団生活における基本的な態度、情報リテラシーの習得
- ・児童生徒の個性や実態にあった教育、そのために教員が授業や児童生徒に向き合う時間の確保
- ・自己肯定感、お互いを認め合える多様性を尊重する態度の向上
- ・自分の好きなことをたくさん見つけられる、感情が揺れ動くような経験
- ・全員が安心して過ごせる学級経営
- ・協働的な活動、大人を含む対話や話し合い活動の充実、そのためのマナーやスキルを学ぶ機会の創出
- ・人権教育の充実

○学校に関わること

- ・柔軟な教育支援（人財や体制）
- ・ヘルプスキルの育成とヘルプを出しやすい環境の整備
- ・現在の学校制度における修得主義の困難さ
- ・小学校で学んできたことの把握する必要性、小中連携の内容の改善
- ・教員の「得意」を活かせるシステムづくり
- ・事務職員、スクールサポートスタッフを増やすなど教員の余裕の創出
- ・行事の充実、教科以外の学習（行事・体験）などの制約が多すぎる
- ・心と体の健康の確保
- ・水泳の外部委託
- ・30人学級の実現

○地域に関わること

- ・地域資源（史跡や人財）の活用
- ・家庭への地域全体でのサポート（つながり）
- ・リアルな社会とのつながり、色々な人と接する機会

- ・ ゲストティーチャー（できればプロを呼びたい）
- ・ 保護者以外の授業ボランティア

#### ○施設・設備等

- ・ ウェルビーイングの実現には良い環境が必要、校舎の建替え、教育設備の充実
- ・ ハードウェアの使い勝手の改善、Youtube 視聴など制限の緩和
- ・ 国語・算数の指導書（赤本）の全クラス配備

### テーマ 2

スクール・コミュニティの創造に向けて何ができるでしょうか。

#### ○第 2 部、第 3 部のプログラム

- ・ 自由に参加できる未来塾、未来塾スタッフの充実
- ・ 放課後の教室開放、図書館開放
- ・ プログラミング、水泳、講座、大人も交えた学びが深まるイベント、外部講師による人生観などの話を聞く機会、スポーツクラブ、校内で習い事を完結
- ・ 保護者、パパママ向けの講座
- ・ 大人主導ではない子どもサークル
- ・ 大人が学んだり、活動した「跡」（作品など）の掲示
- ・ 塾など営利目的の利用への施設提供とそれによる収入確保

#### ○部活動

- ・ 部活動の地域移行、人材バンクによる人材確保、企業等との連携
- ・ 学園単位の部活動
- ・ 部活技術支援員の設置
- ・ 地域の人も一緒に部活をする
- ・ 部活をやりたい先生はできるように

#### ○施設、場づくり

- ・ 老朽化対策（建替え）、質的向上（バリアフリー、シャワー手洗い場、誰でもトイレ、武道場、プールの屋内化）
- ・ 学校施設開放の拡充（地域図書館化、夏休みのプールなど）、学校をずっと開放
- ・ 入校システムのデジタル化
- ・ 5G アンテナの設置

#### ○複合施設

- ・ 図書館、カフェ、給食設備を活用した食堂、売店・コンビニ

#### ○課題

- ・ 第 2 部、第 3 部の管理運営体制、責任の明確化、報酬（予算の充実、アプリでのポイント、地域通貨等）の確保
- ・ SC 推進員の常勤化

- ・ 私物の管理
- ・ 交通アクセスの向上
- ・ 安全の確保（性・暴力・勧誘被害、個人情報等）、警備員の配置

これからの三鷹の教育を考える学園・学校熟議

【おおさわ学園】

日時：令和4年8月23日（火）午後1時から午後3時30分

テーマ1

自らの幸せな人生とより良い社会の創造に向かって、主体的に「人間力」と「社会力」を発揮する子どもたちを育成するためには、どのような教育が必要でしょうか。

○授業に関わること

- ・基礎的な知識・技能の習得
- ・主体的な学び、探究的な学び、学習の個性化、遊びや体験による学び
- ・多様性の尊重
- ・特別活動や行事の充実

○学校に関わること

- ・更なる少人数学級化
- ・異学年交流、幼・保を含めた連携
- ・教科担任制の推進
- ・教員の事務仕事の軽減、ICTの専門家や支援員の配置増
- ・行事の精選、学校公開を毎日実施（土曜日廃止）

○地域に関わること

- ・地域人財によるサポート、地域人財からの学び、地域での学び
- ・専門性の高い人財の人財バンク
- ・天文台や星と森と絵本の家などとの連携

○施設・設備等

- ・施設のリニューアル、エコ対応、バリアフリー、広い廊下
- ・子どもを落ち着かせるための部屋、教室を分割して使えるような仕切り
- ・教職員のくつろぎの空間
- ・デジタル教科書の導入、セキュリティ規制の緩和
- ・図書室の蔵書増
- ・小学校と中学校の施設、授業と放課後の教室は別に
- ・自動販売機、売店

## テーマ2

スクール・コミュニティの創造に向けて何ができるでしょうか。

### ○第2部、第3部のプログラム

- ・学習塾、学習支援、自習室
- ・子どもによるDIY、工作教室、料理教室、スポーツ、音楽、おはなし会、天文
- ・子ども食堂、食堂
- ・地域人財による体験的ワークショップ、職業人の見学
- ・地域コーディネーター養成所
- ・動物（鹿）とのふれあいの場

### ○部活動

- ・部活動の地域移行、部活動指導員・外部コーチの充実
- ・小学生の参加

### ○施設、場づくり

- ・多世代交流、地域との交流の場（カフェなど）
- ・学校施設の開放の推進
- ・不登校支援機能、カウンセラー
- ・七中と渡り廊下でつながる小学校
- ・地域も使える温水プール、トレーニングジム
- ・公園になるグラウンド、遊具、自由に遊べる森、野川の活用、畑、庭
- ・大人も子どもも使いやすい机・椅子
- ・学校農園等で作ったものを地域の方と加工・販売

### ○複合施設

- ・学童、図書館、児童館、コミセン、ボランティアセンター、市政窓口、病院、乳幼児施設・保育施設、高齢者施設、水族館、資料館、野外ステージ、キャンプ場

### ○課題

- ・第2部、第3部の管理運営体制
- ・地域の方が積極的に学校に入っていく仕組みの構築
- ・交通アクセスの向上
- ・安全の確保（個人情報含む）、スクールポリス的なスタッフの配置
- ・広報、情報発信